

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅱ-3-3 医療従事者の養成・確保

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 医療政策課長 家本 賢 電話番号 0852-22-6252

事務事業の名称	看護師等確保対策事業	
目的	(1) 対象	県内の医療機関等
	(2) 意図	必要数の看護職員を確保できる。
事業概要	養成施設・病院に関する情報提供：県内養成施設進学や県内病院就業促進のため、高校生や看護学生に対し養成施設、病院の情報提供。 修学資金貸与：県内病院就業促進のため、看護学生に対し、県内指定医療機関に一定期間従事で免除される修学資金貸与。 看護師等養成所運営費補助：県内養成所への進学者を確保し、県内就職のために、県内の民間養成施設に対して運営費等補助。 養成施設への各種実態調査：県内養成施設の教育や学生の実態を把握し、個別指導や施策検討の基礎資料とするため、当該施設に対して調査実施。 院内保育所への運営費補助：育児による離職防止と未就業看護職員再就業促進のため、病院内保育所設置の病院に運営費補助。 ナースセンターの運営：未就業看護職員就業促進のためナースバンクを設け無料職業紹介を行い、看護に対する住民の理解を深めるため看護業務PR。	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	当該年度に県内養成機関を卒業した看護職員の県内就職率	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		70.00	70.00	70.00	70.00	
式・定義	県内就職者数/県内養成所を卒業した看護職員数×100		実績値	71.20	80.70	70.90	74.70		%
			達成率		115.30	101.30	106.80		%
指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位		
								目標値	
式・定義									
								実績値	
達成率							%		

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	212,350	304,179
うち一般財源(千円)	56,295	63,825

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- 成果指標(県内就職率)については、昨年度(70.9%)に引き続き目標値を上回った。
- ①県内養成機関入学定員の充足率は最近5年間で最も低い(5年平均93.6%に対し90.6%)。
- ②県内養成機関入学者に占める県内出身者の割合は最近5年間で2番目に高い(5年平均73.7%に対し74.2%)。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- 県内就業率は最近5年間の平均値73.0%を上回っている。
- 県内就業者数はH22年度の192人からH26年度は218人に13.5%増加している。
- 総合的には取組の成果が上がっている。
- 県内の看護職員の離職率は6.8%で、最近5年間の平均値6.7%を若干上回っているが、全国平均11.0%と比べると低い水準を維持している。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」  
各医療機関が必要な看護師を確保できない。就業看護職員の絶対数の増加にもかかわらず、離島・中山間地域や中小病院を中心に看護職員の確保が困難な状況。一部では病棟休止も発生。県内病院が更に必要としている看護職員数はH26年度に400人と最近5年間の平均(323人)を大きく上回っている。
- ②困っている状況が発生している「原因」  
夜勤体制の見直し(2人→3人など)に伴う看護職員需要の増大、休職・休暇や長時間労働の削減等の勤務環境の改善
- ③原因を解消するための「課題」  
「県内養成機関への入学の促進」「県内就業の促進」「離職防止」「再就業の促進」の4つの観点から確保対策を進めているが、需要の増加に追いついていない。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

従来からの取組に加え、新しい財政支援制度による取組（修学資金貸与枠の拡充など）を検討する。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）